

特集
交通安全

ルールとマナーで 「安全・安心な未来」を



交通安全について

考える

「交通安全」、誰もが守らなければなら
ないことと認識していることでしょう。
しかし、一瞬の気の緩みを取り返しの
つかない事故につながることも少なくあ
りません。交通事故が増える年末年始に
向けて「交通安全のために自分ができる
こと」について考えてみませんか？

今

年の市内における交通事故の
発生状況は、高齢者が関係する
事故や自転車事故、歩行者が守られる
べき横断歩道上での歩行者の事故が増
加しています。また、時間帯別では夕
暮れ時に多く発生しており、日没時刻
が早まるこれからの季節は、歩行者、
ドライバーとも、より交通事故に注意
をする必要があります。

横断歩道の ルールとマナーを 守りましょう!



歩行者のみなさん、ドライバーのみなさん、
「横断歩道を歩いて渡るとき」、「横断歩道を車で通過するとき」、どんなことに気をつけていますか？

横断歩道は歩行者と自動車が交わる危険ゾーンのため、特に「ルールとマナー」が求められます。

双方それぞれが、次の「ルールとマナー」**3**項目を常に意識して守り、交通安全に努めましょう。

歩行者



- 1 横断しないときは横断歩道の付近に立たないようにしましょう。
- 2 横断するときは左右の安全を確認しましょう。
- 3 手を上げるなど、横断する意思をドライバーに伝えましょう。

ドライバー



- 1 横断歩道の手前では減速しましょう。
- 2 横断歩道付近に歩行者がいるか確認しましょう。
- 3 横断歩行者がいたら必ず停止しましょう。



市内で唯一、国道を横断する通学路(長地交差点)



信号機のない交差点は特に注意が必要です(出早公園付近交差点)

交通事故を減少させるには、一人ひとりが「ルールとマナー」を守り交通安全を意識することが何より大切です。市では交通事故を減らすために、グリーンベルトなどの歩行者空間の確保や減速対策を中心とした整備を計画的に進めています。さらに、市をはじめとするさまざまな組織、団体、市民有志も一丸となって、子どもたちを交通事故から守る活動をしています。市民一人ひとりの意識と、行政による交通安全対策で、交通事故を未然に防いでいきましょう。

自転車指導

高学年

- 指導のポイント
- ・発進と停止
 - ・左側通行
 - ・横断の仕方
 - ・交差点での右左折
 - ・安全確認の仕方 など



路地

- ①道路を横断するときは自転車から降りて前後左右を確認
- ②ハンドルを両手でしっかり持って歩いて渡る



コンビニ 駐車場前

- ①駐車場に出入りする車に気をつけながら走行する



スクランブル 交差点

- ①自転車から降りて、すべての車が止まるのを確認する
- ②左右を確認して歩いて渡る



きちんと渡れるか心配だったけれど、左右の確認ができてうれしかった。これからもきちんと左右を確認して歩きたいです。

岡谷田中小3年
味澤和奏さん



小さい子どもの交通事故が一つでもなくなるように日々努めています。

岡谷警察署交通課
高木 啓さん

岡谷市では、児童・生徒の交通事故を少しでも減らすために、市をはじめ、岡谷警察署、岡谷交通安全協会、学校、PTA、地域のボランティア、自転車店のみなさんなど、多くの人が関わり、長年にわたって子どもたちを交通事故から守る活動を続けています。

歩行・横断指導

低学年

- 指導のポイント
- ・右側通行
 - ・横断の仕方
 - ・交差点での確認の仕方 など



- ①道路を横断するときは必ず止まり、手を上げる
- ②左右を確認
- ③手を大きく上げて渡る



- ①駐車場前では必ず止まる
- ②駐車場に出入りする車に気をつけながら歩く



- ①四方から来るすべての車が止まるのを確認する
- ②左右を確認して渡る
- ③信号が点滅していたら渡らず止まる



子どもたちがあいさつをしてくれるのを励みに20年やっています。

岡谷交通安全協会
宮澤雅光さん

交通安全教室

小学校

市交通指導員

岡谷警察署

岡谷交通安全協会

学校教職員

PTA

春と秋、各小学校で「交通安全教室」を実施し、低学年は「歩行・横断指導」、高学年は「自転車指導」を行います。

みんなで 守る

悲惨な交通事故が多いなか、子どもを事故から守りたいという一心でやっています。特に、ドライバーのみなさんには、横断歩道は歩行者優先ということを守ってほしいと思います。



市民生活課
宮澤 勝

長地交差点での街頭指導のようす。朝の通勤時間帯は特に注意が必要です。



毎日、朝7時からと夕方、保育園と小学校の登下校の時間に合わせて、市交通指導員が2人体制で通園・通学ルートの危険な箇所立ち、交通街頭指導をしています。国道を横断する長地交差点など特に危険な箇所では、小学校の教職員も交差点に立ち、交代で毎日児童の安全を見守っています。街頭指導員が道路に立つことで、ドライバーへの注意喚起にもなり、交通事故の抑制につながっています。

保育園・小学校 街頭指導

市交通指導員

学校教職員

各地域見守り隊



電車通学なので、駅から学校まで毎日自転車に乗っています。ブレーキを調整してもらってよかったです。

岡谷工業高校1年
吉村駿太さん



少しでも自転車の事故が減ったという思いで続けています。自転車に乗る機会が多い年ごろなので、気をつけて運転してほしいと思います。

写真左から
ヤマダ自転車店 山田公さん
宮澤自転車店 宮澤広一さん
今井サイクル 太田義治さん
マルヨ清水 清水英範さん



春と秋、テクノプラザおかや前交差点にて、主に高校生を対象とした自転車事故防止の街頭啓発を行っています。自転車で帰宅する高校生に声をかけ、啓発用ティッシュを配るなどしながら自転車の運転にまつわる注意喚起をします。また、市内の自転車店主による、ブレーキチェックやチェーンの調整などの無料点検も行っており、この活動は60年以上続いています。

自転車事故防止 街頭啓発

岡谷市

岡谷警察署

岡谷市自転車組合

岡谷二輪安全普及協会

岡谷市地域交通安全

活動推進委員協議会

高校生徒指導教諭

岡谷交通安全協会

子どもたちに元気をもらいながら12年続けてきました。無理しないようにがんばろうねと、みんなで励まし合っています。



写真左から
上の原小「ふれあい隊」代表 増澤咲子さん、
同 今井恵美子さん、今井さよこさん、鮎澤仁さん

市内7校の小学校にはそれぞれ、自主組織である「地域の見守り・パトロール組織」があり、約400人のボランティアのみなさんが独自に活動をしています。令和4年度は、上の原小の「ふれあい隊」のみなさんが、岡谷市安全会議より、「安全功労者表彰」を受けました。

ボランティアによる 地域での 見守り

各地域見守り隊

年に1回、学校教職員と保護者PTAにより、通学路の危険箇所の点検を行っています。危険箇所があった場合は速やかに関係各所に連絡し、改善をはかっています。

通学路の 点検

学校教職員

PTA

市民の「意識」と市による「道路整備」で事故を防ぐ

交通事故に「遭わない」・「起こさない」ためには、一人ひとりが「心のゆとり」を持って行動し、意識を変えていくことが大切です。市では道路整備を計画的に進め、事故を防ぐよう取り組んでいます。

歩行者のみなさん



- 信号機のあるところでは信号に従い、**交通ルールを必ず守り**ましょう。
- 夕暮れ時や夜間に徒歩で外出するときは、**明るい色の服**を着たり、**夜光反射板やLEDライト**などを使い、交通事故から身を守りましょう。

ドライバーのみなさん



- 薄暗くなると周りが見えにくくなります。「まだ早いかな」と思っても、安全確保のために、薄暗くなる前に**早めのライト点灯**を心がけましょう。
- 先行車や対向車がいなときは、**ライトをハイビーム**にして、歩行者をより早く発見しましょう。
- ロービームのときは、**スピードを落として気をつけて走行**しましょう。

歩行者・ドライバー
のみなさん

「意識」

心のゆとり



岡谷市
「道路整備」
視覚化等で
注意喚起



「交通事故削減」

通学路

全国で登下校中の児童生徒の交通事故が後を絶たないことから、通学路の安全対策のために平成25年度に市と教育委員会は、道路管理者、警察、学校、地域などと連携して「岡谷市通学路交通安全プログラム」を策定し、通学路の安全対策を実施してきました。同プログラムは3年に一度見直しを行い、今年度から第4次プログラムがスタートしています。第4次プログラムでは56か所でカラー舗装や文字等の路面標示、グリーンベルトまたは歩道新設等の安全対策を進め、ドライバーへの注意喚起および歩行者空間の確保を進めています。

生活道路

市では、「ゾーン30」速度規制区域指定以降、安全対策を実施していますが、依然として速度超過などがみられ、交通事故も多発しています。そのため、さらなる強化対策として、平成31年度からビッグデータ※を活用した安全対策を進めています。令和3年12月には、速度を低下させる効果がある「ハンプ」の実証実験を行い、その有効性を検証しました。今後、ハンプやラバーポールなどを順次設置し、安全対策を強化していきます。

※ビッグデータ：車両の速度や経路、急ブレーキなどの走行履歴情報

●歩行者空間の確保①



グリーンベルトによる表示
(2号線：山の手線)

●歩行者空間の確保②



歩道を新設し、安全な歩行空間を確保
(長地135号線)

●ドライバーへの注意喚起



カラー舗装や区画線の設置による
道路の優先の明確化(長地82号線)

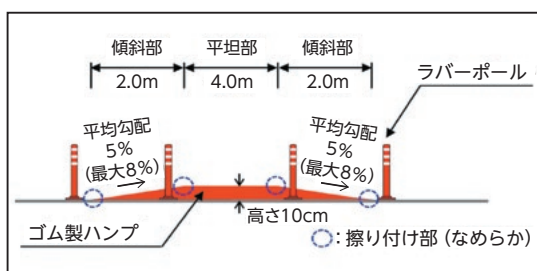
「岡谷市通学路交通安全プログラム」
過去の対策実施箇所を
ご覧いただけます(市HP)



●ハンプ・ラバーポール



今年度完成予定(103号線：西堀通り線)



ハンプ断面図

一人ひとりが
防ぐ

岡谷市の交通安全について 岡谷警察署交通課長に聞きました



岡谷警察署 交通課
伊藤伸一 課長

運転者・歩行者双方が 「ルールとマナー」を 常にこころに

※3ページに掲載

現況
本年、岡谷市内は交通事故が大幅に増加しています。夏以降、コロナによる行動制限が緩和され、人流が活発になってきたことにより、県下全体をみても増加傾向ではあるものの、特に、岡谷市内の増加率は危機的なものとなってしまいました。なかでも、歩行者、自転車、交差点に関する事故の増加が顕著で、このうち歩行者が関係する人身事故については、前年同時期との増加率がプラス200%以上という高い数値で推移しました。

対策

そのため、岡谷警察署では夏以降、歩行者を守ることを、高校生を中心とした自転車マナーの向上を目的とした、市内主要交差点における横断歩道ルール・マナーアップ啓発活動や岡谷駅付近での自転車啓発活動を、岡谷安全協会や岡谷市などと協力して実施し、市民の皆様に対する危険意識の向上に努めました。



ルールとマナーアップの啓発チラシ

市民の皆様へ

一人ひとりが気をつけることで交通事故は減らせます。特に本年の岡谷市内は、歩行者が巻き込まれる交通事故が増加しています。横断歩道は、別名「ロイヤルロード」と呼ばれる歩行者にとっての聖域です。事故を減らすためには、運転者と横断歩行者双方に守るべきルールやマナーがあります。これを常に、こころに留めておいてください。

終わりに

岡谷市は歴史のある町ですから、旧道等の狭い道や見通しの悪い交差点が多く、他地域に比べて交差点での出会い頭事故の発生率も高い傾向にあります。引き続き、速度の抑制、安全確認等の基本的な交通マナーを遵守していただき、安全運転意識の向上に努めていただきたいと思います。

年末の交通安全運動 が始まります 12月15日(木)～12月31日(土)

「信濃路は みんなの笑顔 つなぐ道」

県下一斉街頭活動日：12月15日(木)

毎月5日と20日：「交通安全の日」

4のつく日：「シートベルト・チャイルドシート啓発の日」

ご存じですか？ 未就学児の「交通災害共済」は 市が加入手続きおよび年会費を負担しています

自動車や自転車などと衝突、接触した交通事故により負傷した場合は、実通院2日目から見舞金を受け取ることができます。詳しくは、市民生活課へお問い合わせください。

運転が不安になってきた高齢者のみなさんへ

●高齢者安全運転健康診断事業

岡谷自動車学校の協力により、市内の70歳以上の希望者を対象とした「高齢者安全運転健康診断」を実施しました。

高齢者安全運転健康診断では、自身の癖や危険につながる操作方法などが無いかを診断し、家族とともに現在の運転技術を改めて認識していただきました。

●運転免許証を自主返納した人への支援

運転免許証を自主返納した人に

●満80歳以上：福祉タクシーの利用券（1枚/10回分）

●満65歳以上：シルキーバス回数乗車券（12枚綴り）

を交付しています。

詳しくは、市民生活課へお問い合わせください。

問合せ 市民生活課 内線1166